

筑波大生のための発見マガジン

"ワマガ"

FREE PAPER

こどもごころ

忘れたくない、あの頃のころ



VOLUME

21

2021 春

C4
COLLEGE
REACTION
CHALLENGE
COLLABORATION

Introduction

私たちは皆、こどもでした。

大きくなるにつれて、たくさんを知って、たくさんができるようになりました。

それと同時に、たくさんを忘れてしまいました。

あの頃、
サンタクロースがいると信じて疑わなかったこと。
学校の裏山を駆け回るだけで冒険のように楽しかったこと。
自分は将来何にだってなれると思っていたこと。

そんなところは全部忘れてしまったなと思うと、ときどき無性に寂しくなります。

私たちはもう、こどもとは呼べない年齢になりました。

でも、まだ自信をもって私は大人です！とも言えない気がします。

そんな曖昧な存在である私たち大学生が、こどもの頃のころをちょっと思い出せたら。
あの頃好きだったものを思い出して、もう一度ワクワクできたら。

こどもの頃の自分に、忘れてしまったなにかを教えてもらえるかもしれません。

そして少し大人になった今の自分を、見つめ直せるかもしれません。

このツクマガ 21 が、少しでもそのきっかけとなれば嬉しいです。

小沢遥 / 編集部を代表して



もくじ

5 対談：こどものわたし、大人の私

「こども」って？「大人」って？
筑波大生4人で、こどもの頃と今とを考えてみる対談。

11 ぼくのわたしのお気に入り絵本

みんなの思い出の絵本特集&絵本作家さんへのインタビュー。
久しぶりに絵本が読みたくなるかも。

19 おもいできろくちょう

あの頃好きだった、使っていた、流行っていた、
懐かしいものコレクション。

4 17 18 ミッケ？

いろいろなものがくれんぼ。全部見つけれられるかな。

25 つくば SHOP LIST



対談：こどものわたし、大人の私

こどもの頃と今。

変わったこと、変わらないことってなんだろう。

忘れたくないものってなんだろう。

大人になるってなんだろう。

筑波大生4人でこどもの頃の自分と今の自分を見つめ直しながら、こどもと大人について考えてみました。

企画：小沢遙 デザイン・文章：宇根和花奈 取材・文章：江原実祝 / 小沢遙 写真：世良優月



江原実祝

芸術専門学群1年。
公園が大好きな
C⁴メンバー。こ
の対談をするにあ
たり、幼少期のアル
バムを見返した。
こどもの頃の夢は
女優。

西田空登

医学群医学類1年。
器械体操一筋だった
が、怪我をきっかけに
選手になる夢を断念。
同じような境遇の人を
救うため、医者を目指
した。

横地聖真

体育専門学群1年。
幼い頃からバスケットボールに取り組んでいた。プロのバスケットボール選手を目指し、日々練習に励んでいる。

小沢遥

芸術専門学群 2 年。
ツクマガ 21 号の編集長で、この対談の発案者。こどもの頃はずっと絵を描く仕事に就きたかった。今はデザインが好き。

※文中の学年表記は、取材時（令和２年度）の学年です。

5



さあ、あそぶぞ！

きょうはなにをしようかな。

うちゅうひこうし3人どこだ？

めだまやき 2つ。

ピエロもいるね。

けんだまであそぼう。

ミツケ
?

Q. こどもの頃にしていた勘違いや思い込みはありますか？

4

企画：岡田麻鈴 デザイン：山田樹花 写真：小沢遥

自分はどんな こどもだった？

横地 明るくてフレンドリーな感じでした。

小沢 やっぱ小さい頃から運動とか好きだったんですか？

横地 そうですね。自分たちの世代だと小さい頃はゲームよりも外で遊ぶことが多かったので、運動をよくしました。バスケットボールは小学生の頃から始めて、空手もやりましたね。

西田 僕はたぶんめちゃくちゃ温厚な子どもでした。小さい子ってよく遊具の取り合いになったりすると思うんですけど、僕はちよつと客観視してたらしくて、滑り台滑ろうとしている人を見たら「どうぞ」みたいな感じだったらしいです。

小沢 大人ですね（笑）。

江原 私は小さい頃から日本舞踊とフラダンスを4年間ずつぐらいやっていて、ステージに出て発表するっていうことがすごく好きでした。お遊戯会とかでもいつも主役争いしていて、かなりステージっていうものに愛着がある子どもでしたな。あんまり外で遊ぶことは好きではなくて、お部屋の中で遊ぶことが多かった

らなかったとしても、いいかなと思えるようになりました。

江原 私も結構そういう方向で変わったかなって思いますね。今までもっと自分が表に立って何かをしたいと思ってたんですけど、例えば裏方の作業をするとか、自分が表に立つこと以外にも物事に関わる方法はあるなっていうことを学びました。あとは、私は自分の意見を通して、だんだん周りの意見に耳を傾けることができるようになりました。そういうふうに、自分だけではなく周りと一緒にというように意識が変わっていったことはちよつと大人になった部分かなって思います。

小沢 そういう変化もあるよね。逆に変



こどもの頃から変わった こと、変わらないこと

小沢 私は小さい頃は目立つことや前に出ることが全然好きではなくて、リーダーとか中心的な立場にもなりたくなかったです。でも小学校高学年とか中学生になるとそういう役割をやらなきゃいけない機会も出てきて、だんだん嫌じゃなくなったというか、やってもいいかなみたいな気持ちになるようになりました。今は割と普通にやるので、これは結構変わったことかなって思います。

横地 僕はフレンドリーなところとか、積極的なところは小さい頃から変わってないと思います。変わったところは、自分の気持ちに素直になれるようになったところですかね。昔は嫌なことがあったらため込んで、ものに当たったりとか、友達とよくけんかしたりしたんですけど、今は嫌なことや思ったことがあればちゃんと素直に伝えられるので、そういうところはちよつと大人になったかなと思います。

江原 自分の心と折り合いがつくようになったって感じですかね。

江原 そういうコアな部分ってあまり小さい頃から変わらなかったりしますよね。横地さんもバスケットをやっていたらしゃるので、チームで何かやるっていうことは好きですか？

横地 そうですね。バスケットをやるのが日常になっているのであまり意識したことなかったんですけど、たぶん個人よりチームでやった方が、勝利に対する気持ちや喜びなどをみんなで分かち合えるので楽しいのかなと思います。

こどもごろろを感じるの、 どんな時？

小沢 まだこどもっぽい心が残っているな、と感じるときはありますか？

こどもの頃って、今考えたらすごくどうでもいいことやちよつとしたことに、わくわくしたり、感動していたりしたんじゃないかなと思います。だけど、大人になるにつれてそれが当たり前になっていって、感動のハードルが上がったなあということ感じて。それってちよつともったいないというか、寂しいなって気がしますね？そんな純粋な感情を思い出す機会があってもいいんじゃないかって思って、「こどもごろろ」というテーマを提案しました。

西田 僕が変わったなって思うのは、僕はずっと器械体操をしてて体操一筋みたいな人生だったんですけど、ある時怪我をして体操できなくなってしまっって、その瞬間に、全然ベクトル違うけど、医者になろうって思ったんですよ。

江原 それは自分と同じように怪我した人をサポートできるように、ということですか？

西田 そうです、自分と同じように怪我をした人を助けられたらいいなって思っって。だから昔は体操という選択肢しかなかったのに、今は医者という選択肢もある。かつ、医学群に入ったからといって別に医者にならなくてもいいじゃないですか。こういう風に選択肢の幅を増やして物事を捉えられるようになったっていうのはすごい自分の中で変わったことだなと思いますね。

小沢 それは結構分かるかもしれない。私は、昔は漫画家とかイラストレーターとか絵を描く仕事に就きたいと思っいて。もし例えば自分が手とか怪我して絵描けなくなったら死ぬな！くらいに思っってたんですけど、今はそうなったとしても死にはしないと思うんですよ（笑）。今も絵を描くのは好きですけど、絵を描くだけじゃなくていろんなことを学んで、それが絶対じゃなくなったというか、それができなくなったとしても、仕事にな

「大人になるにつれて感動の
ハードルが上がったなあと感じ
てて。それってもったいないと
いうか、寂しいなって気がしま
せん？」



西田 こどもは将来に対して様々な選択肢がありますが、普通は大人になるにつれて自分の可能性を狭めていきますよね。だけど自分は今でも、あれでいい、これもできるというように、自分がやりたいことをいくらでも思いつくんですよね。それは、こどもごろろがまだ残っているからかなって思いますね。

小沢 まだいろんな所に好奇心を広げられるみたい。

西田 趣味とか無数に広げられるなって今でも思いますし。フラワーアレンジメントをやってみたり、ドイツ語やってみたり。例えば料理にしても、簡単に作れるものではなくてフレンチ作ってみたり。サークルも全学のダンスサークルに入っています。ダンスは大学から始めたんですが、よく上手い選手の動画を見たりしているんですよ。周りには、そんなところまでいけないから目指しても意味ないよっていう人もいますが、自分はそうは思わないですね。トップレベルの選手にまだなれるなって思っているの、毎日練習に励むモチベーションになっています。時間足らないって思いながらいろんなことやっています。

江原 多数の趣味を持ちつつも、一つ一つに対する熱量も大きいですね。



「こどもは将来に対して様々な選択肢がありますが、普通は大人になるにつれて自分の可能性を狭めていきますよね。」

西田 たとえ中途半端でも、何かをやっている状況が楽しい人と、極限まで達した状態になってから楽しくなる人がいますよね。自分は後者で、ただやっつてるだけだとあまり意味ないなって。上達しないと思うんですよ。やるからには極めますね。

小沢 こどもって、一回上手くできなかったら嫌になっちゃうみたいな面もありますよね。向上心や物事に対する粘り強さは、大人になる過程で身につくものだと思います。それらと色々なことをやってみようとするこどもらしい好奇心が両立しているからこそ、様々な分野で極めていこうと思えるのかもしれないですね。

忘れたくない
こどもどころ

小沢 大学生になってから、みんなお酒飲むようになるじゃないですか。遊ぶとったら飲もうぜみたいな雰囲気か大学生って結構あるな思っています。それ自体はいいことだと思うんですけど、「遊ぶ」お酒飲む」みたいな、なっちゃうのは少し寂しいなって感じたり。私は、お酒とか無くて楽しめる心を忘れたくないなっています。



気に慣れると、改めて自然の良さを感じました。めっちゃ空が広いところとかすごい好きだなって思います。

こどもと自然

小沢 こどもの頃の環境、育った環境って結構自分に影響を与えてるなって思います。皆さんの出身はどのようなところでしたか？

横地 僕は名古屋です。

小沢 名古屋の人って、やっぱり出身を聞かれたら名古屋って言うんですね。なんか愛知って言わないって噂を（笑）。

横地 そうですね、言わないです（笑）。

西田 僕は三重県の鈴鹿市っていうところ出身です。ど田舎だったので、小4ぐらいまでは遊ぶといたら近所の池にザリガニ釣りに行ったり、田んぼにオタマジャクシをすくに行ったりすることでした。

小沢 私の出身も田舎で、小学校や中学校は学年に一クラスしか無かったです。小学校の時の遊び場は、誰かの家が公園でした。遊具などは特にない、ただっ広い公園でよく遊んでいました。また自然はいつも触れていたなと感じます。家の前に田んぼがあったので、オタマジャクシがいっぱいいましたし。春の夜なんかはカエルの鳴き声をBGMにして寝ていました。その田んぼは夏になると蛭がたくさんいたので、よく夜に観に行ったりしました。今考えたら、すごく古きよきこどもって感じですね。

江原 物心ついたときから身近に自然があったんですね。私はこの辺の出身なのですが、自然の中で遊ぶという経験はあまりなかったですね。どちらかというと

人工物に囲まれていたなと思います。

横地 名古屋も駅のあたりは都会的な雰囲気でしたし、自然が多かったわけではなかったですね。近所には川はありましたが、公園とかで遊んでいました。近くに大きなショッピングモールがあったので、小さい頃はそこで鬼ごっこしたりもしていました。

西田 たまに友達と集まったときに、山行こうぜ！みたいになったりすることってありません？自然の中に行くと、大人になるにつれ忘れていくこどもだった頃の思い出が想起されたりするんですね。そうすると、過去の自分と今の自分の違いみたいなのを感じてそこに感動を覚えるから、やっぱり山とか行きたくなっちゃうのかなって思います。

横地 わかります。僕も大人になって絶景を観に行ったりすると、やっぱり綺麗だなって思うので、地元の友達と遠いところに出かけたりはしますね。

小沢 筑波大生ってよく筑波山行くよね。自然とこどもころって強く結びついているのかもしれないですね。ちなみにつくばって駅の方は都会的だけど、自然も多いじゃないですか。つくばは都会か田舎かって聞かれたらどっち派ですか？



「自然とこどもどころって強く結びついてるのかもしれない。」

こどもと大人とは

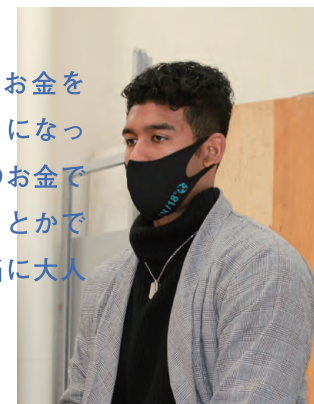
小沢 今回いろいろ話して、「こどもと大人」について考えたことはありませんか？

横地 大人って何だろうって考えたとき、親から離れてちゃんと自分で稼げて、あまり頼る必要がなくなったときに大人なのかなって思いました。自分が必要なお金を全て払えるようになって、なおかつ自分で稼いだお金で親にプレゼントとできたなら、そのときに大人なのかなと思います。

西田 僕たちは親から見たらこどもってポジションはずっと変わらないですよ。だから、そういう意味では、実家に帰ればこどもだということを自覚せざる終えないと思うんですけど、でも世間的にこどもと大人っていう対比はあって。僕なりの感覚としては、責任を自分で負えるようになった時がこどもと大人の変わり目だと思います。自分が何かしてしまった、どうしようってときにまず親に……って考えちゃってる間はたぶんこどもで、自分でどうにかしようって思ったらそれが大人になるんだなって思える瞬間かなって。

江原 無意識に親を思い浮かべないってことですよね。私は親から頼られるようになったら、大人かなと思ってます。も

「自分が必要なお金を全て払えるようになって、かつ自分のお金で親にプレゼントとかできたときに大人なのかなと。」



しかしたらいくつになっても親はこどもを心配しちゃうのかもしれないんですけど、もう大丈夫かなというか、頼れるなと思ってもらえたら、大人になれたかなって思いますね。

小沢 今皆さんの自分なりの大人の定義みたいなものを聞いて、どれもなるほどって思いました。私も、自分一人で生きていけるようになったら大人っていうのが、わかりやすい基準かなと思います。ただ、それは世間的な身分としてのこどもと大人の区別なんですけど。本当の自身としてのこどもと大人の区切りは無いんじゃないかなって思っていて、ずっとこどもの自分と大人の自分は共存していくのになって私は思ってます。大人の自分が前に出なきゃいけない歳なんですけど、こどもの自分も大事にしていきたいなと思います。

対談を終えて

「こどもっぽい」という言葉は、あまりいい意味では使われませんよね。

落ち着きがないとか、気が変わりやすいとか。

それに対して「大人っぽい」は、なんだか洗練されていて、達観しているような雰囲気。私の中では無意識のうちに、こども＝未熟、大人＝完全というイメージがありました。だけど実際にはこどもと大人の境界は曖昧で、気づいたら大人になっていたし、ある意味一生こどもなのかもしれません。

小さい頃は「こども」という要素しかなかったが、成長していくにつれてこどもの自分とは別に、物事を柔軟に捉えられる「大人」の自分が形成されるのだと思います。こどもらしい素直さや無邪気を内包しつつ、上手にバランスをとっていかると良いですね。

「こども」と「大人」。

あなたにとってはどのような存在ですか？

ぼくのわたしのお気に入り絵本



デザイン：世良優月／荒巻里奈

取材：良本翠／世良優月／荒巻里奈／小沢遥

文章：市川結己／良本翠

企画：小沢遥

ぼくのわたしのお気に入り絵本



なかがわ りえ子作 おおむら ゆりこ画 / 福音館書店

パンケーキが飛び切りおいしそうだったから。
(社会学類 ヨシ子さん)

お母さんが読んでくれたから。
(国際総合学類 しょう)

大きい卵を見つけてカステラを作っているシーンを
今でも覚えているから。(国際総合学類 へい)



長谷川摂子作 ふりや まな画 / 福音館書店

絵が綺麗だったから。
(人文学類 ぼっちゃま)

不思議な世界観と独特な恐怖感がとても
印象に残っているから。
私は怖かったので嫌いだったが、母が大
好きで何回も読み聞かせされた。
(社会学類 ぷーん)



赤羽末吉作 / 福音館書店

絵本を真似して家中に手紙を隠し、プレゼントを
宝探しのように追わせる遊びをしていたから。
(芸術専門学群 とーそん)

何ページにもわたって巨大な芋が
書かれていて、とてもワクワクしたから。
(情報メディア創成学類 ちよす)



どい かや作 / アリス館

小学校2年生の時に劇で
キツネ役を演じてたから。
(心理学類 名無し)

オオカミと本当の友達になる
ところが好きだから。
(芸術専門学群 リー)



瀬田貞二作 林明子画 / 福音館書店



ふるた たるひ作 たばた せいいち画 / 童心社

とにかく怖かった。
押し入れの中に閉じ込められた
後の暗くて得体の知れない物語
を見た後は押し入れの半径1m以
内に近寄れなかったから。
(教育学類 ああああ)

多くの人が幼少期に読んでいたと思うが、
大人になってから読むと意外と絵が怖いことに気づき、
当時の自分がどんな感想を抱いていたのか気になったから。
(工学システム学類 のぎー)



わかやま けん作 / こぐま社

この本でホットケーキの作り方を学び、母と一緒に作ったから。
(人文学類 T.Y.)

くまが無表情なところや色鮮やかなイラストが印象に残って
いるから。
(芸術専門学群 m)

あきのためにしっぽがべちゃんこになったり犬に砂に埋められたり
しながらも一生懸命になっているこの姿が本当に愛らしくて、
応援したくなったから。林明子さんのかわいらしい絵も魅力的な
絵本だった。
(芸術専門学群 たこすけ)



五味太郎作 / 福音館書店

まるまるとした絵柄が好きだった。
きんぎょのようできんぎょじゃない
ものがあったりして、その中から
にげたきんぎょを探すのが楽しかっ
たから。
(人文学類 島崎)



エリック=カール作 もり ひさし訳 / 偕成社



林明子作 / 福音館書店

井上千裕

CHIHIRO
INOUE

PROFILE

茨城県出身。

筑波大学大学院デザイン専攻
修了。2019年、英アングリア
ラスキン大学チルドレンズ・
ブック・イラストレーション
コース MAを修了。2020年秋、イギリス Tateより
自身初となる絵本を出版。

——現在はどうのような活動をされているのですか。

絵本作家、イラストレーターとして活動しています。

——学群も大学院も筑波大学の「出身ですが、学生時代はどのような創作活動をされていたのですか。

私の学生時代には、絵本や漫画をよく授業で扱ってくれた笹本純先生がいって、しゃって。その先生の授業が、私が絵本に興味を持ったきっかけです。

教育的な「こどものための絵本」という視点じゃなく「表現自体がこんな風に面白くて、こういう造形の工夫があって」みたいに表現自体を見せてくれて、それがすごく面白くて。修了制作でも絵本を作りました。

——絵本への単純な興味が、「これから絵本を作っていこう」という気持ちへと切り替わったきっかけはありますか。

膨らむっていうのが一番いいのになって思います。

で：言葉がない絵本を作るのは、文章を置くとお話が結構断定的になっちゃうのかなと思う事もあって。

絵だけの場合は「読んでいる人の中で作られるお話」というもののに結構頼るといえるか、もしかしたらその読んだ人の話が、私が考えたお話と違うかもしれないんですけど。それがちょっと面白いのかなと思って作りました。

絵と文字と…

絵本をかたちづくるもの

学生時代はただ作りたくて作るという感じでしたね。もうひとつきっかけになったのは、板橋区立美術館というところで毎年行われている「ボローニャ絵本原画展」です。それに参加して色々な国の人の表現を見たり、「あ、こんな自由にやっていいんだ」と学べたりしたことなどがモチベーションになって、「こういう場所に立てるようになったらいいな」という風に思い始めました。

——様々な国の絵本文化に触れながら、「自身の創作のスタイルを作ってきたのですね。

そうですね。日本の絵本だけではなくて、色々な国の絵本を意識的に見ていたと思います。

——「ここからは、ご自身と絵本の思い出に話を移したいと思います。井上さんは、こどもの頃はどんなお子さんでしたか。

——「ご自身が考えたストーリーに読者が固定される必要はなくて、そこは自由に考えてほしいと思われているんですね。

私が小さい頃、絵本をひとりで読んでいたというのも関係あるかもしれないのですが、たまーに読み聞かせで同じ本を読んでもらった時に、「ああ、そういう話だったんだ！」と自分が思っていたのと違う話だったことがあって、それもありませんじゃないかなって。読む人が選べる感じがあってもいいんじゃないかなという風には思います。

こども時代と絵本

私すごくシャイで。今もそうなのですが、こどもの時は特に。幼稚園の年中ぐらいの時から、五年間ほど海外にいて、向こうの英語系の学校にしばらく通っていたんですけど、そこでシャイが爆発して、本当に喋れなくて。それでずっと一人でレゴしたり、絵本を読んだりするのが好きでした。

——やはり小さい頃から絵本に関連する思い出は多いですか。

そうですね、両親に読んでもらった記憶っていうのは実はそんなにないのですが、自分で読んでました。結構手の届くところに絵本があって、絵

——絵本に絵と文字と様々な要素があるってお話もされてましたけど、一番思いが強いのは絵に関する部分でしょうか。

そうですね…。ちょっと現実的な話なんですけど、自分の絵本を海外で売り込むときに、出版社の方に「文字のない絵本の出版はむずかしいよ」って言われて。「ああそうなんだ」ってちょっとショックを受けて。

でも、本気で出版を目指そうと。ちゃんと言葉があってストーリーがあって、みんな分かるような絵本を作ろうって思ってたのが、デビュー作だったんです。言葉を入れてみると、絵で起こっていることと言葉で起こっていることの微妙な噛みあいとか…ここに言葉では書いていないけれど絵ではもっとこんなことが起こっているとか、そういう関係の面白さみたいのがあって。言葉も本当に大事なな…と思います。

——井上さんは、どのようなステップで絵本制作をされるのですか。

昨年出版された絵本の場合は、絵本を作ろうと思ったときに今まで描いたものを見返して、不満そうな顔の二匹の双子の犬が向かい合っている絵を見つけたんです。どんな犬なんだろう、と思って、二匹がいろんなことをして、いろんな場所にいるところを描いてみました。その二

をずっと眺めていました。あとアラビヤ圏の国に住んでいたんで、学校ではお祈りの時間があったのですが、私はイスラム教徒ではないのでその時間は英語の勉強を兼ねて絵本を読む時間という風になっていました。そこで読んだ絵本が印象に残っています。

——自分で絵本を読んだ経験が多いとのことですが、「読み聞かせ」についてはどう思われていますか。

学生の頃は「自分で読んできたんだぜ」みたいな気持ちがあって、読み聞かせみたいなものにちょっと苦手意識がありました。でも、読み聞かせによって絵本がコミュニケーションのツールになるといえるか。読んで聞かせてあげること空間を作れたり、体験を共有できるので、今はそれも絵本の良いところのひとつだと思っています。

——井上さんは絵だけの絵本も制作されていますが、絵本において絵と文字はそれぞれどういう役割を果たしていると思いますか。

絵本を読むときに、「絵が語るお話」と、「文章で書いてあるお話」、そして同時に「読んでいる人の中で作られるお話」っていうのがあのかなと思っています。それら全部に役割があって、複合的に合わさると変わってきたりするのかな。すべてが合わさって、お話や世界がさらに

身近なことを

絵本に

匹のキャラクターを探っていく中で、お話を作っていました。

——キャラクターから、ストーリーを展開されていったんですね。そこからはとにかく描くという作業が中心で…

そうですね、ほんとに(笑)。

たまたま友達が妊娠していたとき、彼女には既に女の子がいたんですが、もうすぐ弟が生まれるという頃、その子が不安げだったり、甘えん坊になったりしている様に見えました。そんな風にその時自分が気になったことを、絵本のキャラクターにぶつけてみたり、絵の上で組み合わせたりして、作っていました。

——日常から絵本制作のヒントを得ているんですね。

身近なことを、お話に使えないかなと思って。なにかお話が見えてきたら、内容の組み合わせを変えたり、流れをいくつも考えてみたりして、ストーリーを構成する要素を探していく感じですよ。



絵本作家

——絵本を作る上で、こども目線を意識して考えていることはありますか？

五歳になる甥っ子や、友達のこどもとか、その子が読んだらどうか、ちゃんと伝わるかな、という風に考えたりしますね。そうやってこどもを見ていると、自分のこどものころの体験とちよつと重なる部分があって、それをきっかけに絵本にしたりもします。

——ご自身のこどもころを思い起こしながら読んでみたい絵本を制作されているのでしょうか。それとも、大人視点で、現代のこどもたちに読んでほしい本を制作しているのか…。

んー…難しい質問ですよね(笑)。でも、あまり教育的な感じにしたいくないとは思っています。

こどものときって、世界がまだそんなに広くなくて、自分の恥ずかしいと思う部分を隠したり、これでいいのかわからないことがあったり、いろいろ秘めている思いがあると思うんですが、大人の私としては、「そんなの全然あり」みたいな(笑)。そういうこどもの悩んでいる部分を肯定

する姿勢が、自然に見せられたらいいなと思います。

自分のこどものころ(を思い出して絵本を作ろう)って強く思っているわけではないですが、こどもを見ていたら、自分のこどもの時の考え方や気持ちがりんくする部分があります。

——絵本制作の中でこどもの頃の自分が出てくる瞬間があるんですね。

そうですね、意識的に、それを見逃さずにキャッチしようとしています。

絵本作家ってすごくこどものころを持った大人っていうイメージがあって、私はそれがちよつとプレッシャーというか(笑)。でも、こどもに目を向けて作っていくと、多分、気が付かなかっただけで、みんなこどもころ“って持っているんだらうなって…。見逃しちゃったり忘れやすかったりするけど、意識的に探していくと、多分みんなの中にあるんじゃないかなと思います。

——では最後に、井上さんにとって「こどもころ」とは…。

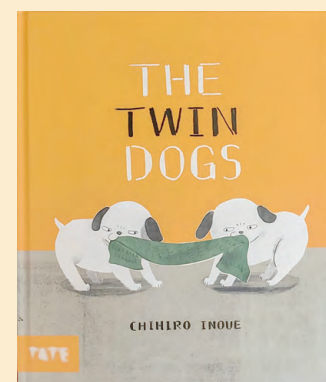
「こどもころ」とは…難しい(笑)。さっき言ったように、大人になっても誰

こどもころは

『誰もが秘めているもの』

ものが秘めているものなんじゃないかな、と思います。遊び心ともちよつと近いような。遊びがあったり、楽しく作ったりすると、それが見る人に伝わるかなっと思うので。

——なるほど、「こどもころ」というのは単に大人の心への途中経過というだけではなく、大人になってもずっとどこで持ち続けているものなんですね。本日はありがとうございました！



The Twin Dogs 作・絵 井上千裕

2019年制作 2020年出版 (Tate Publishing / イギリス), 32ページ 4歳+ 甘えん坊のふたごの犬が新しい兄弟を迎える物語絵本。

(井上千裕ホームページ <https://chihiroinoue.com> より引用)

イギリス、アメリカ、韓国で出版された。

今後、中国での出版も予定されている。



はじまり、はじまり。

はやくよみたいね。

きいろいいちりんのおはな。

きんぱつのおんなのこ、ワンピースがお似合い。

ふしぎなりんど。

チカチカひかるしんごうき。あかはとまれ。

ミッケ？

ツクマガ学習帳



この"おもいできろくちょう"には、今の大学生が
考える懐かしいものたちを詰め込んでみました。
たとえば、幼稚園の頃に遊んだおもちゃ。
小学校で使った文房具たち。
図書館で読んだ児童書。
思い出たちをつまみ食いしながら、
こどもごころに浸るひとときをどうぞ。

企画：片岡ゆいの デザイン：穴見佳乃子
文章：安部裕貴 / 片岡ゆいの / 門間咲希

おもいできろくちょう

ねん くみ なまえ



もうおなかぺこぺこ。

みんなでわけっこできるね。

ここにもいるよ、うちゅうひこうし3にんぐみ。
まっかなおほしさま。
うしさんが2とう。
あかいマイク。

ミッケ
?

ランドセル

昔は黒と赤がほとんどだったのに対し、最近は縁のところだけ色が違うおしゃれなデザインも増えている。私はごく普通の赤いランドセルを使っていたが、なぜか自分のランドセルが大好きで、クラスで一番すてきだと思っていた。幸せなやつめ。



旧式の筆箱

鉛筆を一本ずつ刺せる、長方形の筆箱。蓋がぱかぱかする。ぱかぱかしすぎると、本体とのつなぎ目が破れる。

ちゃお

月一で連載している少女漫画誌。顔全体に対する目の割合がとても多い。ふろくが毎回良い。

フエキのり (でんぶんのり)

動物の顔の形をしたプラスチックの入れ物に、ペースト状ののりが入っている。なんか…原始的。



クインテット

Eテレで放送されていたパペット音楽番組。オープニングテーマが今でも頭から離れない。2013年放送終了。



怪談レストラン

テーマごとに怖い話を集めた短編集(全50巻)。目次では、各話の内容が料理に例えられていて面白い。ここから本の趣味が狂い始めたそのあなた、友達になろう!

連絡帳

時間割や宿題などをメモするノート。人によっては落書き帳と化している。友達と交換して書いたりしていた。

リカちゃん人形

ぽぽちゃん、メルちゃんなど数あるお人形の中でもトップオブトップお人形女王。世代によって顔が微妙に違うらしい。

送迎バス

バス停で降りた後も親同士の井戸端会議が終わらない。ので小一時間ほどそこで遊ぶ。

アンパンマン

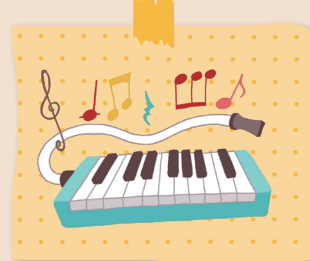
これを通らない子供はいなかろう。おもちゃ・服など様々なところにいる。全世代共通。

シルバニアファミリー

ウサギの家族のお人形。家や家具も精巧に作られており、コレクションしてインテリアにするのもいいかと思った今日この頃。

鍵盤ハーモニカ

息を吹き込んで音を出すピアノ。せっかく買ったのにあまり使わなかった。吹き込み口のところがガジガジになっている人が何人かいる。



スーパー戦隊 仮面ライダー プリキュア

ストーリーが意外に奥深く今見ても案外面白い。関連するおもちゃや変身道具も多数発売。地味に高い上、実用性は皆無なので親子の間で論争が起きる。

ラブ and ベリー

着せ替えカードゲーム。ゲームセンターでゲームをすると1枚ずつカードがもらえる。女の子は集めていた人も多いのでは?

おかあさんといっしょ

どのうた(たいそう)のおにいさん・おねえさん世代だったかな? 私はしょうこおねえさん。

かいけつゾロリ

1年生から6年生まで全学年に大人気。特に人気な巻は常に借りられておりなかなか読めなかった。本のポロポロ率が高かった。



プロフィール帳

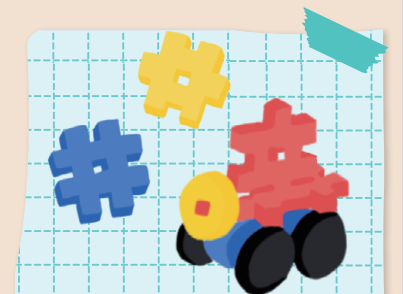
主に女子の間で、プロフィールの書かれた紙を交換するのが流行った。当時は何も考えずに交換していたが、実はかなり重要な個人情報が入力された用紙。

アクアビーズ

水でくっつく不思議なビーズでオリジナル作品を作る。今でも人気で新商品が発売されている。

ニューブロック

生まれて初めてモノづくりに触れた。



スモック

幼稚園で着る、ダボっとした服。かわいいワッペンとか刺繍とか付けてもらった。お母さんありがとう。

リコーダー

高い音は、トゥーって言いながら吹くときれいな音が出る。低い音は、トーって言いながら吹くと（以下略）



「ぼくら」シリーズ

「ぼくらの七日間戦争」に始まるシリーズ。大人に立ち向かう主人公たちの姿にみんな憧れていた。はず。

裁縫セット

なんだかんだ一生使える便利なセット。将来のことを考えてシンプルなデザインを選ぶべきだった。

デュエル・マスターズ

バトルカードゲーム。ドラゴン・魔法など中二病ゴコロを揺さぶる設定に男の子たちはドハマリ。最強のデッキを求め、カードの交換がよく行われていた。「俺のターン!ドロー!!」

組体操

支える人と支えられる人でできている。拍手を浴びるのは上に乗っている人。世界の縮図。お互いに支えあっているなんて幻想。

ベイブレード

「3・2・1ゴーシュート!」の掛け声でおなじみのバトルゴマ。たかがコマと思うなかれ!パーツ組み換えて戦略を練るなど意外に奥が深い。

彫刻セット

彫刻刀で掘った板にインクを付け、紙に転写する。紙をこするために使うあの丸いやつの名前は何でしょう?正解はバランでした!!

コロコロコミック

でんじゃらすじーさんしか覚えてない。応募はがき、書くだけ書いて送らなかつたなあ。



3DS

DSシリーズの最終形態。しかし3D機能はほぼ使われなかった。すれちがい通信をするためだけに外出していた。絵日記・ミーバース・うごメモなど、懐かし機能がたくさん。

ハリー・ポッター

本当にありそうな呪文がたくさん出てきて、思わず言ってみたくなる。映画も本も魅力的!!!今でも入学届待ってます校長先生!

小学校 高学年

習字セット

男子はドラゴン柄、女子はハート柄（偏見）。筆はちゃんと洗おうね!



〇〇のひみつシリーズ

学研から出ている漫画シリーズ。みんな読んでたね。

クイズ!ヘキサゴン

フジテレビのゴールデンタイムで放送されていたクイズ番組。おバカブームをけん引。「羞恥心」などの歌手グループも生み出した。

消しカスを丸めて大きくする

ここだけの話、私は消しカスを丸めた塊に名前をつけて育成し、その観察日記を書いていた。

ピラメキーン

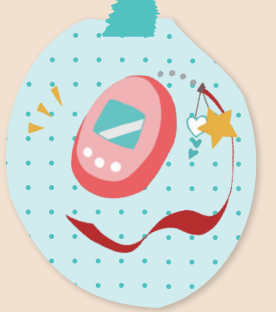
はんにゃはここでしか知らない。

練り消しゴム

消しゴムの仲間。カラフルで、とても柔らかい。ひたすら伸ばして遊んだ。楽しかった。混ぜると汚い色になる。

たまごっち

たまごっちを通して、掃除の大切さと命のはかなさを知った（主観）。



イナズマイレブン

現実ではありえない技と髪型の連続。ゴッドハンドー!って体育の授業でやってる子いた。

若おかみは小学生!

家に全巻ある友達が複数いた。3年前に映画化され再び話題に。

クッキングアイドル アイ!マイ!まいん!

Eテレで放送されていた料理番組。主役のまいんちゃんは、今注目の若手女優である福原遥さん。その成長ぶりにまるで母のように感激。

小学校 中学年

つくまが 21くみの なかまたち



おざわ はるか

わたしは げいせん 3 ねんで
へんしゅうちょう をがんばりました。



おかだ まりん

わたしは げいせん 3 ねんで
あーとでいやくたん をがんばりました。



あべ ゆうき

ぼくは じょうか 3 ねんで
きかく をがんばりました。



いちかわ ゆき

わたしは げいせん 3 ねんで
ぶんしょう をがんばりました。



うね わかな

わたしは げいせん 3 ねんで
でざいん をがんばりました。



かたおか ゆいの

わたしは しんり 3 ねんで
ぶんしょう をがんばりました。



Office
〒305-0821
茨城県つくば市春日2-35-2
エトワール春日106
E-mail
info@tsukunavi.com
Twitter
@C4_office
Facebook
www.facebook.com/c4office



あなみ かのこ

わたしは げいせん 2 ねんで
でざいん をがんばりました。



あらまき りな

わたしは げいせん 2 ねんで
でざいん をがんばりました。



えばら みのり

わたしは げいせん 2 ねんで
ぶんしょう をがんばりました。



かどま さき

わたしは しゃがく 2 ねんで
ぶんしょう をがんばりました。



せら ゆづき

ぼくは げいせん 2 ねんで
でざいん をがんばりました。



りょうもと みどり

わたしは きょうい 2 ねんで
ぶんしょう をがんばりました。



やまだ このか

わたしは げいせん 2 ねんで
でざいん をがんばりました。

● へんしゅうこうき ●

ツクマガ vol.21を最後までご覧いただきありがとうございます。

今回は私がこの「こどもごころ」というテーマでツクマガを作りたいと駄々をこねました。あまり自覚はないのですが、気づいたら私も20歳になっていて、大人にならなきゃなあと思うことも増えました。でも正直私はまだ自分のことを大人だとは思えないし、大人になりたくないと思っています。大人になりたくないというか、それこそこどもごころを忘れていくのが寂しいなと。「こどもごころ」はそういう私のめちゃくちゃ個人的な思いから生まれたテーマです。なんというか、歳を重ねるにつれて自分が贅沢になっていくのが嫌なんですね。だから私はいつまでも、サイゼリヤのご飯とかセブンティーンアイスとか人からもらったちょっとしたお菓子とかで喜べる人間でいたいなと常日頃思っています。ちょっとしたものごとを楽しめたり喜べたりするところをもっている方が人生楽しいんじゃないかなと思うので。年相応に大人になりつつも、そういうところを忘れず生きていきたいですね。今ある唯一の人生の目標です。

編集長 / 小沢遥

● かんそうおまちしてます！ ●

学生団体 C⁴ ではツクマガをより良いものにしていくため、ツクマガへの感想をお待ちしております。この企画が面白かった！こんな企画をやってほしい！等なんでも構いません。

E-mail: info@tsukunavi.com へ もしくは
#ツクマガ21 をつけてのツイート
よろしくお願いします！

● 学生団体 C⁴ とは？ ●

学生団体 C⁴ は筑波大学生を中心に構成された団体です。フリーペーパー「ツクマガ」の発行、WEBサイト「ツクナビ」の運営を通じて、学生をターゲットに新たな発見を得てもらうことをコンセプトに情報発信しています。

発行日：2021年4月1日
発行：学生団体 C⁴
発行人 / 編集長：小沢遥
校正補助：平石あすか
印刷 / 製本：株式会社グラフィック
©2021 学生団体 C⁴ 禁無断転載
Printed in Japan
お問い合わせ E-mail: info@tsukunavi.com

※この雑誌に掲載されている情報は
2021年4月1日現在のものです。



企画：小沢遼 企画・イラスト：岡田麻鈴

みすけ



<http://tsukunavi.com>

がくせいだんたいCが運営するウェブサイト

ツクナビ

コンセプト：はっけん！つづけて、しげくてき

ウェブサイト「ツクナビ」は、つくば大生向けの記事などを発信しているメディアです。この号のうらは「な」もよめるよ。

れんさい企画、とくしゅう

「女学生部」つくばでみつけた日々のごちそう、メンバーがオススメの本やおんがく、つくばで起きたこと、みつけたことなどを、しょうかいしています。ほかにも大学にまつわるおもしろい、新入生向けのききもあるよ。

いべんとの告知・せんでん

いべんとや、さくら・だんたいのおしらせをしたいときにどうぞ。「ツクナビ」に宣伝の記事をのせませんか？ サイト内のカレンダーからもおしらせできます。

がくせいだんたいCしんメンバーばしゅう中！

こんなちとにきてほしい！

- ざっしや本がすま！
- でざいん・はんしゅうをわってみたい！
- ウェブサイトのでざいん・運営をしたい！
- 耳ざいなどでひととつづがかりたい！
- ツクマガ・ツクナビでやりたい企画がある！

おきがるにどうぞ！



ツクマガバックナンバーもウェブでこうかい中！

チェック！



21 "גרג" 21

